



八中だより



令和7年12月9日 12月号
調布市立第八中学校
校長 馬場 誠

HP : <http://www.chofu-schools.jp/chofu8/>

誰ひとり取り残さないための支援体制

校長 馬場 誠

調布市では今月を「いのちと心の教育月間」と定め、一人一人の生命を大切にすることを呼びかけています。本校でも一人一人の大切さをあらゆる場面で確認し合い、誰もが安心して通える学校を目指しています。スローガンに「心理的安全性」を掲げて数年たちますが、年を重ねるごとに、生徒たちは多様な意見を受け入れる寛容な集団作りを意識しているように見えます。

集団としての安心も大事ですが、一方で、中学生の時期は、一人一人に目を向け、きめ細かなサポートをすることも必要です。多様な子どもたちの居場所となれるよう、本校でも様々なサポートをしています。ここにいくつか紹介をします。

○スクールカウンセラー…今年度から火・水・木曜日に3人のカウンセラーが来ています。現在、生徒や保護者が多く利用しています。カウンセラーが増えたことによって、不安や悩みを一人で抱え込まず、安心して生活できる体制が強くなりました。

○スクールソーシャルワーカー…家庭訪問や医療機関との橋渡しなどを通じ、子どもや家庭を支えています。保護者に寄り添いながら、一緒に子どもの成長を見守っています。

○OCTO (オクト) ルーム…教室に入りづらい生徒たちが利用しています。ソファやハンモックなどを置き、支援員も常に在室して、暖かな空気に包まれています。出られる授業には出席したり、オンラインで授業を受けたりするなど学習を進める生徒もいます。また、不登校対応巡回教員が本校を拠点校としているため、生徒たちのために多くの時間を費やしてくれています。さらに、親の会も開かれ、心理士で本校のコミュニティ・スクール委員をしている松丸未来先生も同席し、アドバイスなどをしていただいています。(OCTOの利用については担任とよく相談してください。)

○スクールサポーター・学習支援員…学習が苦手な生徒に対し、授業中寄り添い、支援をしています。授業以外でもコミュニケーションをとり、心の支えとなっています。

○校内通級教室…学習上・生活上困難がある生徒たちに個別指導、小集団指導などを通じて苦手を克服するための指導をしています。本校は拠点校なので、2日間、通級の教員が在籍しており、通級の教室だけでなく学校生活のいろいろな場面で生徒を支えています。

○特別支援委員会…毎週、担当教員らで会議を開き、支援が必要な生徒に関して「だれ一人取り残さない」気持ちで情報交換を行っています。このほかにも全教職員で生徒理解研修や不登校アセスメントを行い、生徒の変化を確認し合い、指導の方向性を考えています。アドバイスなどをしていただいています。(OCTOの利用については担任とよく相談してください。)

ほかにも、定期考査で合理的配慮が必要な生徒に対して別室受験を行ったり、保健室でちょっとした悩み相談を行ったりするなど、生徒を支える仕組みを学校全体に広がっています。

調布市にも支援する機関がさまざまあります。多様性を包摂する柔軟な教育へと世の中は舵を切りました。生徒の可能性を支えらえる学校作りを目指していきたいと思ひます。

3年生 面接練習 「数えきれないくらい」



12月に入り3年生全員を対象に、校長・副校長で面接練習を行っています。

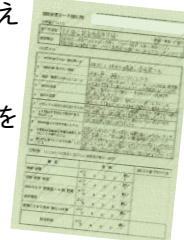
ある生徒が、希望する学校の教育方針などに自分の思いを加えて答え始めました。その言葉は頼もしい内容でした。もう少し聞きたくなった私は質問を重ねます。「他にはありますか？」

「はい。説明会に参加した際、『ここ雨漏りするんです。』と案内の高校生が微笑みながら話してくれました。本当ならば隠したいようなことを、温かい表情で学校への愛着をもって話してくれ、校舎は古くても大切に思っていることが伝わりました。」と答えました。それ以降、その生徒はどの質問に対しても、簡潔かつ具体的に答え、そして、これからの生活での自己成長への強い思いを自分の言葉で伝えました。その言葉の一つ一つから落ち着きと自信、独自の視点や考えが伝わり、もっと深く聞きたくなるような受け答えで引き込まれました。「どのくらい面接のための練習をしましたか？」

「数えきれないくらいです。」

準備をして臨む。当たり前ですが、その準備は自分の精一杯の努力をしたものかどうかを自分に問い「これで大丈夫」と堂々と言える準備こそ、一流の準備だと教えられました。

受験勉強として点数という結果だけに一喜一憂するのではなく、この時期だからこそ、数値化できない内面の成長にも目を向け、将来の自分を支える土台をつくってほしいと思います。



2年生 TOKYO GLOBAL GATEWAY 英語体験学習 11/19(水)

TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS では、デジタル技術とリアルを組み合わせた充実した英語体験が行われます。新しい時代に向けて、未来を担う子供たちの英語教育についても様々な改革や取組が進められています。



最初は緊張していた生徒たちも、英語を話したくなる仕掛けが満載の環境の中で自然と笑顔があふれ、積極的に自分からコミュニケーションをとっていました。



コミュニティ・スクール委員とのお話し会

複数日に分けて CS 委員の方々と全教員との面談を実施しました。

○地域移行、地域連携が進められている中での部活動について、先生方の思いを聞くことができた。

○生徒が穏やかで先生方自身も八中に赴任して気持ちよく教育活動を行うことができているということを知って嬉しく思った。

○日常業務や保護者対応についての現状など実際の学校現場の状況や、先生方それぞれの考えなどを聞く機会となった。

育てたい子どもの実現に向けて、学校・家庭・地域が連携していきます。



1年生 TOKYO 2025 デフリンピック観戦 11/21(金)

「デフ(Deaf)＝耳が聞こえない」武蔵野の森スポーツプラザ 京王アリーナにて日本で初開催となるデフリンピックを観戦しました。



審判の合図、会場の表示、そして私たちの応援。普段目にすることの多いスポーツとは少し違った工夫がなされていました。



選手の力強く、鋭い動きに、みんなでサインエールを送りました。傷害の有無に関わらず、「スポーツの価値を感じた時間でした。」

☆生徒の活躍の様子☆

■中学生の「税についての作文」

◇武蔵府中納税貯蓄組合連合会 優秀賞
3年生 1名

■令和7年度薬物乱用防止活動率先校

◇薬物乱用防止標語 出展

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/hokeniryo/r7sossenkou-2>

★12月の予定★

- 1日(月) 全校朝礼
いのちと心の教育月間
- 4日(木) 脊柱側弯検診
- 5日(金) 三者面談終
- 8日(月) 専門委員会
- 9日(火) 中央委員会・普通救命講習
- 10日(水) 道徳授業地区公開講座
- 12日(金) 移動教室保護者説明会(1年)
- 14日(日) 中学校英語スピーキングテスト 予備日
- 15日(月) 生徒会朝礼
- 17日(水) 校内研究授業
- 16日(火) がん教育講話
- 24日(水) 大掃除
- 25日(木) 終業式
- 26日(金) 冬季休業日始
- 29日(月)～1/3(土) 学校閉庁日



11/25-27 昼休み 八中祭

第2回 学校評価アンケートにご協力ください

11/28(金)にすぐーで送信しております「学校評価アンケート」への回答を12/25(木)までをお願いします。保護者の皆様から頂いたアンケートを貴重な意見として受け止め、来年度に向けた検討に活用させていただきます。